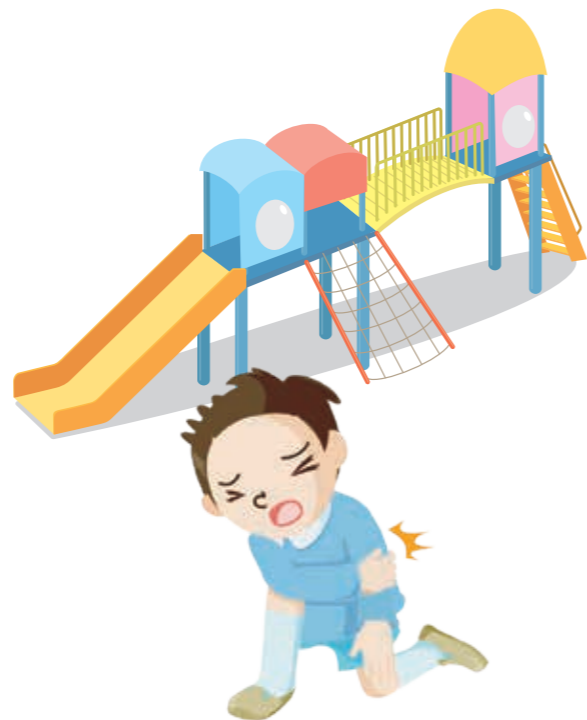
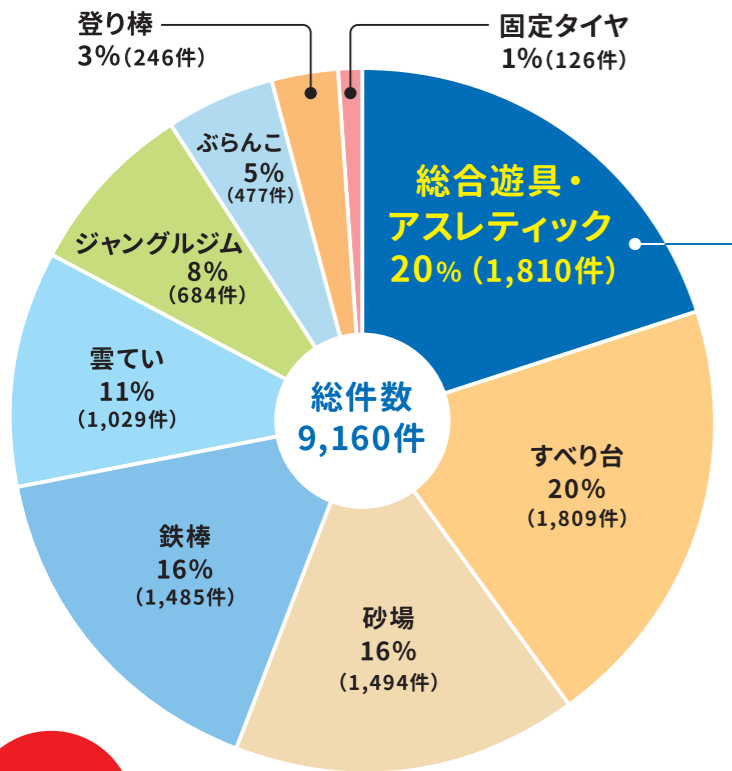


幼稚園、幼保連携型認定こども園、保育所等での遊具でどのくらい事故が起きているか？

(令和4年度災害共済給付医療費データ)



最も多い!

総合遊具・アスレティックの事故防止のポイント

様々な遊具がつながっているため、各遊具のポイントを押さえた上で、以下の点にも注意しましょう。

- 複数のこどもが、動きの重なる所で遊び始めてないか。
- こども同士が遊んでいる様子や遊び方に気を配っているか。

監修者一覧(法人名・敬称略)

- | | |
|------------------------------|--|
| ◎五十嵐 隆：国立成育医療研究センター理事長 | 渡部 佳代子：江東区立大島幼稚園園長 |
| 鮎澤 衛：神奈川工科大学健康医療科学部教授 | 渡邊 正樹：東京学芸大学名誉教授 |
| 大矢 幸弘：国立成育医療研究センターアレルギーセンター長 | 木下 史子：文部科学省総合教育政策局
(アドバイザー) 男女共同参画共生社会学習・安全課
安全教育調査官 |
| 桶田 ゆかり：十文字学園女子大学教育人文学部教授 | 植松 悟子：国立成育医療研究センター
(協力者) 救急診療部統括部長 |
| 川原 貴：大学スポーツ協会副会長 | |
| 丸山 純：勝田保育園園長(全国私立保育連盟常務理事) | |
| 安井 利一：日本スポーツ歯科医学会理事長 | |

◎は部会長

令和6年3月発行

【編集・発行】

独立行政法人日本スポーツ振興センター 災害共済給付事業部

TEL：03-5410-9154 / URL：https://www.jpnsport.go.jp/anzen/

※本パンフレットを学校・園の様々な活動で使用することを目的とする場合に限っては、コピー、送信、配布等のあらゆる非営利目的の利用が可能です。その他の目的による複製、転載、引用等については、必ず右記サイトをご確認ください。 → https://www.jpnsport.go.jp/anzen/tabid/520/Default.aspx



利用の際は必ず下記サイトを確認下さい。
www.bunka.go.jp/jiyuriyo

固定遊具の事故防止パンフレット

なくそう! 固定遊具の事故



JAPAN SPORT
COUNCIL

※令和2年度に作成した「固定遊具の事故防止マニュアル～学校(園)における安全教育・安全管理のポイント～」を基に、加筆・修正を加えまとめたものです。詳しい内容は、右の二次元バーコードよりマニュアルにアクセスしご参照ください。



マニュアルはこちら

安全で楽しい 遊具遊びのために!

日常の保育活動で起こり得る事故を未然に防ぎ、
安全・安心に過ごせるようにしましょう。

ルール、順番を
守る。

こどもの遊ぶ姿を観察し、
保育者同士で協力をして
定期的にルールを見直す。

遊具がぬれている
ときは遊ばない。

フード・
ひも付きの服や、
首に掛けた水筒・
かばん等は危険!

窒息を予防する
ために荷物や
引っ掛かるものを
身に着けたまま
遊ばない。

こどもたちに
声をかけましょう!

危険な箇所が
あったときは回避し、
大人に伝える。

遊具に潜む
危険な箇所や
危険な使い方を
学ぶ。

新学年や
新学期ごとに、
遊具の安全な
使い方を
学ぶ。

遊具の
対象年齢を守る!

こどもの様子を
よく見守り、危険な
行動はその場で
声をかけて
改善する。

こどもたちと
一緒に考えましょう!

遊具を安全に
使用することの
大切さを理解し、
進んで安全な
行動ができるよう
になる。

遊具を安全に 管理するためのポイント

必ず専門家による定期点検を実施した上で、日常の点検を行うことが重要です!

ポイント 1

点検は定期的・継続的・
組織的に行いましょう。

(著しい汚れや異物、ボルトの緩み、欠落、
亀裂、劣化、摩擦、腐食、破損、変形、
著しい塗装剥離等はないか。)

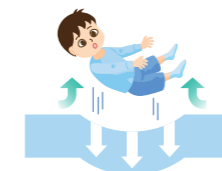


ポイント 2

遊具の使用方法、危険な箇所を
発見したときの対処方法、事故が
起きた場合の対応をマニュアル化し、
共通理解を図りましょう。

ポイント 3

遊具の設置面に基礎が露出して
いないか確認し、落下等に備えて
設置面にマットを敷くなどの対策を
行いましょう。



ポイント 4

ぐらつきは解消し、さびは取り除き
ましょう。

ポイント 5

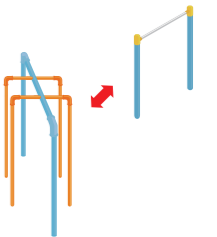
引っ掛かりや絡まりを起こす部分
は取り除きましょう。

ポイント 6

けがをしたこどもを救助するため、
大人が入れるようにしましょう。

ポイント 7

他の遊具との距離を
取り、周囲に十分な
空間を作りましょう。



ポイント 8

見通しの良い場所に設置しましょう。

ポイント 9

石、ガラス、木の根、地面の凹凸など、
遊具の周りの危険なものは
取り除きましょう。



ポイント 10

安全柵、落下防止柵を設置しましょう。

点検する際は、目視のみで終わらず、遊具の表面を触る・遊具をたたいて音を聞く・遊具を押して
ぐらつきを確かめる等、視覚・聴覚・触覚など様々な点で確認しましょう。

安全の確保ができない遊具は、すぐに使用を禁止し、
必ず専門家に相談した上で問題の改善に取り組みましょう!

すべり台

事例



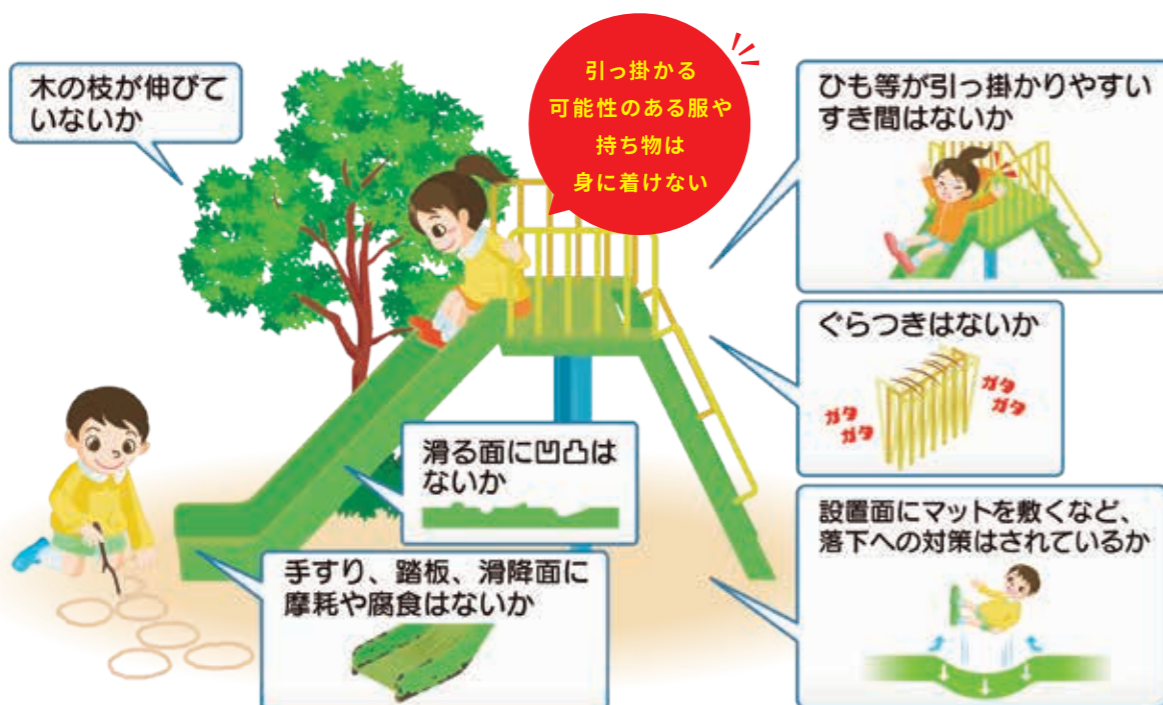
降り口付近にいたところ、
上から滑ってきた他のこどもの頭が
歯にぶつかった。
(左上乳中切歯、外傷性歯牙脱臼)

安全に遊ぶポイント

- 1人ずつ滑る。(つながって滑らない。)
- 落下防止のため、**上で友だちを押さない。**
- 上に他のこどもがいるときは、**下から登らない。**
- **物を持って登らない。**
- **降り口の近くで遊ばない。**
- **正しく順番待ちをする。**
- **立ったまま降りない。**

❗ 教職員は、高さのある遊具の場合、事前にこどもへ注意喚起を行った上で、万一の落下に対応できる近さで見守る。

点検のポイント



砂場

事例



他のこどもが振り回したスコップの
砂が両眼の中に入った。
(両結膜異物、両角膜びらん)

安全に遊ぶポイント

- 砂場遊びで使う道具を振り回さない。
- 砂の付いた手で、**顔や目をこすらない。**
- 砂を**人**にかけない、口に入れない。
- **危ないものがあつたら、大人に知らせる。**

点検のポイント



鉄棒

事例



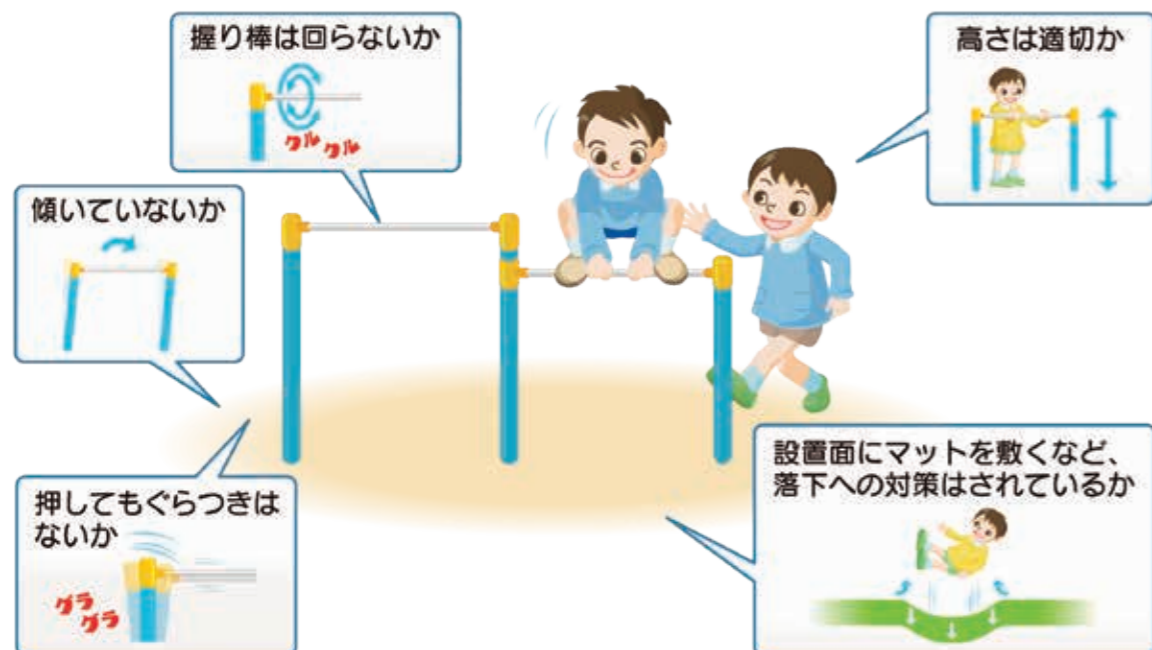
こうもり下がりをしていた際、他のこどもに腹部を押され、バランスを崩し腰背部から落ち後頭部を打った。(頭部打撲傷)

安全に遊ぶポイント

- 握り棒をしっかり握る。
- 鉄棒の下を通り抜けない。
- 友だちとの間隔を空けて遊ぶ。
- 鉄棒の上に立たない。
- 遊んでいる友だちに触らない。

❗ 教職員は、他の遊びと動線を分ける工夫をする。

点検のポイント



雲てい

事例



雲ていの下に立っていたところ、ぶら下がって遊んでいた他のこどものつま先が右眼に当たった。(角膜びらん、外傷性虹彩炎)

安全に遊ぶポイント

- 友だちが遊んでいる下に入らない。
- 雲ていの下をくぐり抜けない。
- 前の友だちと間隔を空けて遊ぶ。
- 上で立ち上がらない、歩かない。
- 友だちの位置、動きを見て遊ぶ。

❗ 教職員は、高さのある遊具の場合、事前にこどもへ注意喚起を行った上で、万一の落下に対応できる近さで見守る。

点検のポイント



ジャングルジム

事例



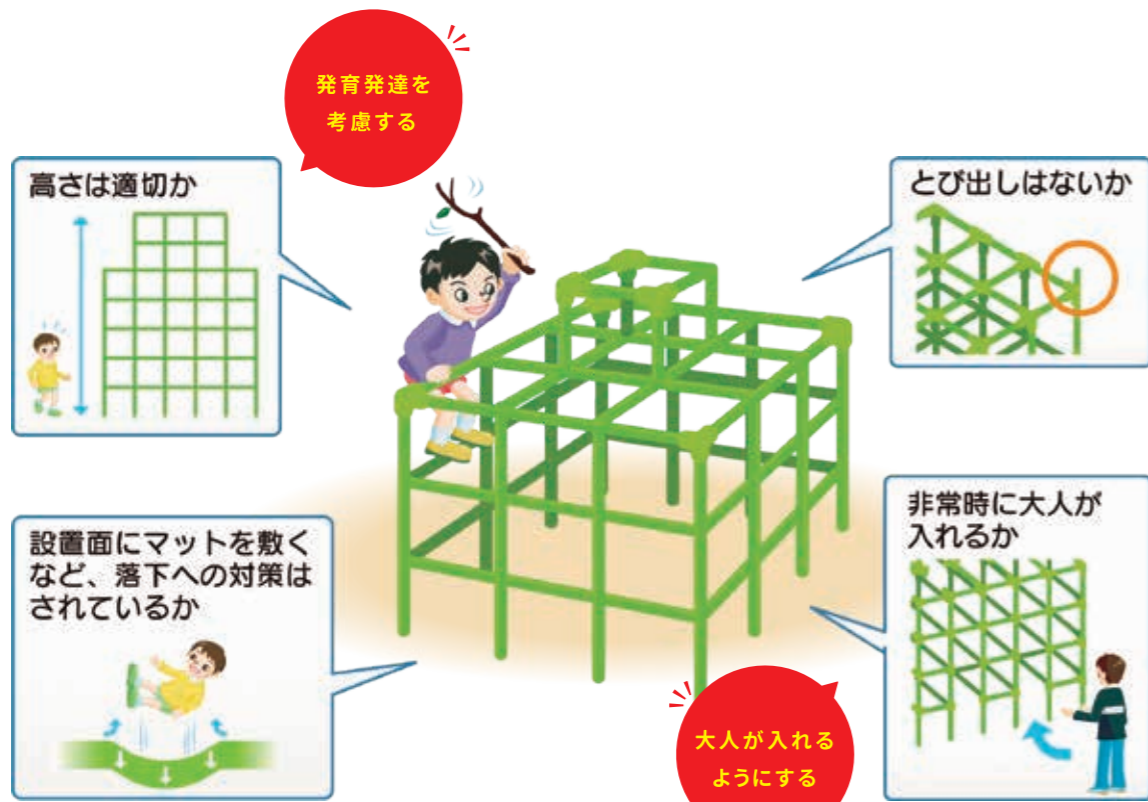
園庭のジャングルジムを登っていたところ、自分の手に持っていた小枝が左目に入ってしまった。
(角膜びらん、結膜炎)

安全に遊ぶポイント

- 木の枝やボールなど、手に物を持って登らない。

- ❗ 教職員は、こどもの成長に合わせた、登ってよい高さ、飛び降りてよい高さをこどもが見て分かるように示す。
- ❗ 教職員は、高さのある遊具の場合、事前にこどもへ注意喚起を行った上で、万一の落下に対応できる近さで見守る。

点検のポイント



ぶらんこ

事例



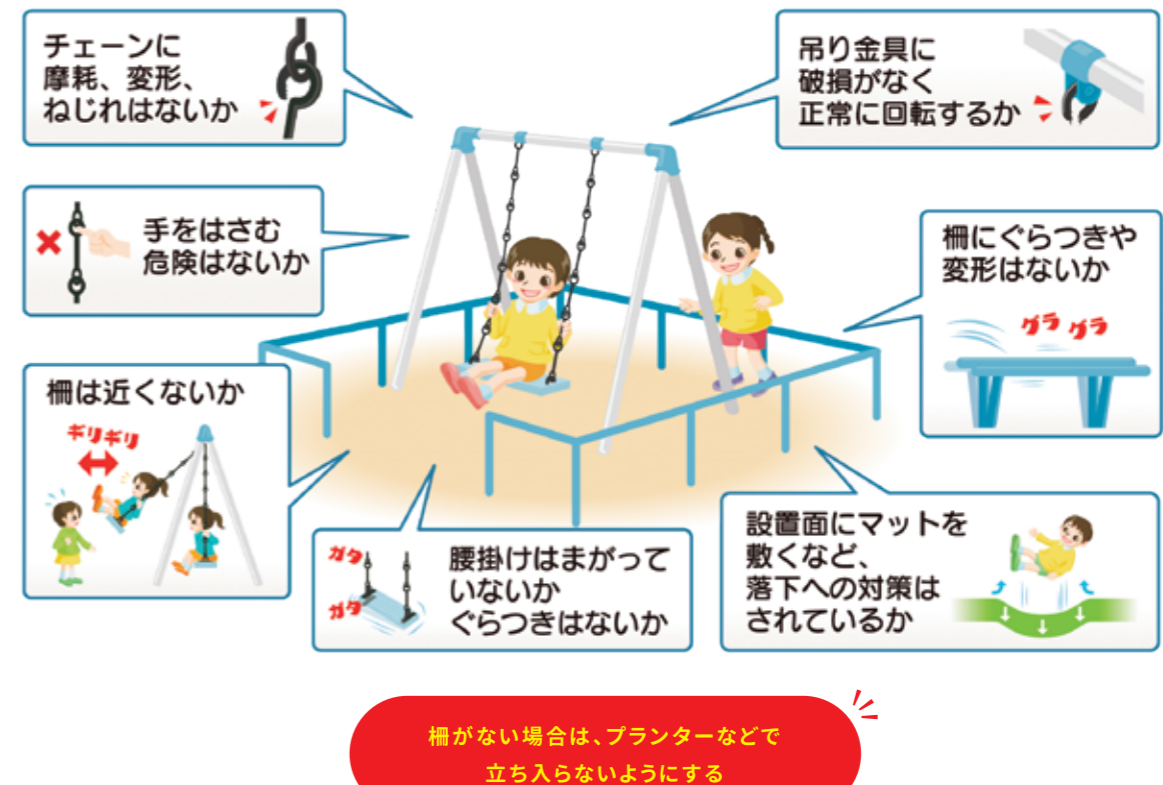
順番を待っていたところ、ぶらんこが空いたと思い柵内に入ったが、まだ他のこどもが乗っており、ぶらんこで左眉上あたりをぶつめた。
(前額部挫傷)

安全に遊ぶポイント

- 揺れているぶらんこの前後に入り込まない。

- ❗ 教職員は、順番を待つ場所が分かりやすいように目印を付ける。

点検のポイント



登り棒

事例



登り棒から降りようとしたところ、すべって降りたため、下にいた友だちの頭と、本園児の顎の下が接触した。(下顎部裂創)

安全に遊ぶポイント

- 登り棒をしっかり握る。
- 登り方だけでなく、降り方も一緒に覚える。
- 最上部で立てる構造の場合、上で立ち上がらない、ぶら下がらない。
- わざと揺らして遊ばない。
- 友だちが登っている下に入らない。
- 下に友だちがいなか確認して降りる。

❗ 教職員は、高さのある遊具の場合、事前に子どもへ注意喚起を行った上で、万一の落下に対応できる近さで見守る。

点検のポイント



固定タイヤ

事例



タイヤ跳びをしていたところ、後ろから来た他のこどもに押されるような体勢になり、滑り落ちた。(右肘打撲傷)

安全に遊ぶポイント

- タイヤにしっかりと手をつけて跳ぶ。
- 跳んでいる友だちに近付かない。
- 1つのタイヤを複数人で同時に使って遊ばない。

点検のポイント

